

目標2 男女が生き生きと働きともに支える社会づくり

現状・課題	理想像	対象事業	意見
<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度末の市の審議会における女性委員の登用率は34.5%。 登用率が40%になっていない部署に対しては、文書等でお願いをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度までに、女性の登用率40% 	<ul style="list-style-type: none"> 事業番号20 審議会等委員への女性参画推進 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の様々な企業に対しても、働きかけを行う。
<ul style="list-style-type: none"> 病児の保育をする施設がない。 保育園の待機児童 	<ul style="list-style-type: none"> 病児保育が出来る体制を整備し、働きやすい環境づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業番号28 特別保育事業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事が決まらないと保育園に預けることが出来ないため、職探しが出来にくい。 ⇒一時保育の活用ができるが、知らない人が多い。 幼児の時だけでなく、小学生の時にも時短就業が出来るようにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 職場では、どうしても男性が重要な仕事が、女性には軽微な仕事が割り振られがちである。 女性が出産して家にいるのに、男性まで育児休暇を取りにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 休んだ人の穴を皆でうめられるような体制をつくり、休みを取りやすい環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業番号23 関係機関と協力した自営業者等への啓発 事業番号24 家族経営協定の推進/関係機関と協力した農業者への啓発 事業番号25 家族経営協定の推進 事業番号26 市内企業等への啓発や意見交換 事業番号27 労働に関する法制度やワークライフバランスの啓発/仕事と家庭等のバランスに配慮する事業所の事例紹介 事業番号34 父親向けの育児講座の開催 事業番号35 ママパパ教室等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 周りが育児休暇を取るようにすすめる。
<ul style="list-style-type: none"> 女性が後の手間を考えて、男性の家事参加をさせていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭内で助け合って、家事分担をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業番号38 男性の家事参加を促す講座の開催/家事チェックシート活用による啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 男性をほめて育てる